

ゆめ

さくら

夢咲楽

～和輪話通信～

目次	■子どもたちの力を育む体験活動……………1	■ICT研究班のICTワンポイントアドバイス……………3 「身代金要求型ウイルスの巻」
	■キミチャレンジ……………2	■青少年センターの活動……………4

子どもたちの力を育む体験活動

7月1日(土)市内の小学生が、うどん作りの体験活動を行いました。

うどんを作るのは初めてという子がほとんどでしたが、力を合わせて生地を伸ばしたり、包丁や鍋も自分たちで注意をして扱うところを見て、子どもたちの逞しさを感じました。

自分たちで作ったうどんの味は格別だったようで、子どもたちからは「楽しかった」「今度は家で作ってみたい」「頑張ってたうどんはおいしい」といった嬉しい声が寄せられました。

もうすぐ夏休みに入ります。いろいろな体験活動ができそうで楽しみです。



わわわ隊 福田 克之



さくら市青少年センター少年指導員会は、「とちぎの子ども育成憲章」の具現化を目指して、地域における青少年の健全育成のための様々な活動をしています。

ー 今回のチャレンジ ー

ユースボランティア 合同運動会のお手伝い♪

キミ★チャレンジ

みんなの挑戦を紹介するよ

5月21日(日) 社会医療法人 恵生会

黒須病院・介護老人保健施設 いずみ
グループホーム桜野・介護付有料老人ホーム 桜の郷

なんでボランティアに参加したの？

- 人とコミュニケーションがとりたいなと思っていたので、このボランティアに参加しました。
- 地域に貢献したかったからです。
- 人の役に立ちたいと思って参加しました。



「今日は暑いですね」

これから挑戦したいみんなに一言!

- 職員さんがサポートしてくれるから安心でした。やりたいと思ったらぜひ参加してほしいです。
- 自分の大切な経験になります。
- 終わってから「やって良かった」と思ったので、皆にもやってほしいと思います。
- 将来きっと役に立つので挑戦して欲しいです。
- ボランティアは“人のため”でもあるけど“自分のため”にもなるのでぜひやってみてください!

みんなも
チャレンジ!



車椅子の押し方を習ったよ♪

体験してどうだった？

- 車椅子を初めて押したことがとても勉強になりました。
- 泣きそうなほど喜んでもらえて凄く嬉しかったです。
- 普段あまり話せない年代の方と沢山お話できました。
- ボランティアがどういうものか分からなかったけど、地域の人とコミュニケーションが取れてとても楽しかったです。
- 知らなかったことを沢山教えてもらいました。
- 「誰かのためにがんばる」ことがこんなに良いと改めて感じました。
- ちゃんと出来るか不安でしたが、「ありがとう」と言われて自然と笑顔になりました。
- 地域の方と係わることで皆が笑顔になるんだと実感しました。



一緒に玉入れ

職員さんからのメッセージ

皆さんには一生懸命協力していただいて、とても助かりました。ご利用者様も若い皆さんと触れ合うことができ、はじける笑顔がいっぱいでした。お疲れ様でした。本当にありがとうございます。

ボランティア活動は参加した皆さんに「楽しかった」「良かった」と思って、今後の生活にも役立てて貰えることが大切だと思っています。これからも皆さんの御協力をお待ちしています。





先生どうしよう！パソコンがウイルスに感染しちゃった！
お金を振り込めばデータを元に戻してくれるみたいだけど
本当に信じてもいいのかなあ。

それはランサムウェアと呼ばれているウイルスだね。
「身代金要求ウイルス」とも言われていて、ここ数年で沢山の人が
被害にあっているんだ。画面をロックしたり、ファイルを暗号化して読
み取れない状態にして解除のためにお金を振り込ませるんだよ。
でも、お金を振り込んで元に戻らなかったという報告もあるから、
お金を振り込むのはやめておこう。



元に戻す方法はないんですか？
ランサムウェアに感染しないようにする方法も教えてください。

そうだね。ウイルス対策ソフトで駆除することができる場合もある
けど、ファイルを壊されてしまうこともあるから、大事なファイルは外
部ディスク等を使ってパソコンの外にも保存しておいた方が安心だね。
感染しないためには、常にパソコンのOSを最新の状態にしておく
こと。それからメールなどに添付されているファイルは安全性を確か
めてから開くことが大事だ。

例えば、パソコンが家だとすると、ウイルス対策ソフトは玄関のカ
ギのようなもの。悪い人がいたら、カギを壊して入ってくるかもしれ
ないよね。

大切なファイルは自分で守らないといけない。
特に、インターネットを利用するときは注意しよう！



青少年センターの活動

「全体会」

4月27日(木)少年指導員(和輪話隊)全体会が行われました。さくら市の教育目標(心身ともに健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり)に則り、青少年健全育成事業を進める活動がスタートしました。



「青少年の農業体験」

市内小学生とさくら清修高コースボランティアの青少年が、柿木沢圃場にて、「田植え体験」と「田の草取り体験」をしました。9月には稲刈りを予定しています。



5月7日(日)「田植え体験」



7月1日(土)「田の草取り体験」

「あいさつ巡回活動」

5月10日(水)市内小学校(上松山小学校は除く)・中学校・高校において、「あいさつ巡回活動」を実施しました。また、5月24日(水)上松山小学校において、「あいさつ巡回活動」を実施しました。



今年度あいさつ巡回活動日程

(H29)5/10(水) 7/5(水) 9/6(水) 11/1(水)
(H30)1/10(水) 3/7(水)

※上松山小学校は、氏家中生徒ボランティアと活動を共にしますので、以下の日程になります。
(H29)5/24(水) 9/13(水) 11/8(水)
(H30)1/10(水)

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

とちぎの子ども育成憲章

明日を担う子どもたちが、夢と希望を飾る心算でたくましく成長することは、最良すべの願いです。わたしたちは、子育てに積極的にかかわり、子どもたちをみんなで育てていく決意を込め、ここに憲章を制定します。

わたしたちは

- 一、子どもたち一人ひとりを尊重し、命を大切にします
- 一、子どもたちとのかかわりを深め、思いやりの心をはぐくみます
- 一、子どもたちとともに、学び、喜び、励ましあい、社会の一員としての自覚を育てます
- 一、一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します
- 一、とちぎの豊かな自然、伝統、文化を守り、子どもたちに引き継ぎます

平成29年2月9日
栃木県

あとがき

いよいよ7月に入り、さくら市内もお祭りの季節となりました。この季節のうまい魚といえば、かつおやアジ、サバといったDHAを多く含む青魚で、血液サラサラ効果が高いといわれています。私たち「わわわ隊」も日頃の活動を通してDHA効果のように青少年との関わりを深め、豊かな未来人を育むための青魚として努めていきたいと思ひます。

わわわ隊 飯島 満

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

広報啓発班

飯島 満・大河原 千晶・岡村 浩雅・福田 克之・村上 佳彦・加藤 紘敬

さくら市の子どもを
みんなで育てよう

第3日曜は
家庭の日

ゆめさくら わわわつしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第32号
発行日 平成29年7月15日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川14420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp